

第2章 地域の概況

1. 自然環境の特性

(1) 地理的、地形的特性

本市は茨城県の南西端、東経 139 度 58 分 42 秒、北緯 35 度 56 分 52 秒に位置し、東京都心から 40km 圏内にある。東は取手市、西は常総市、北はつくばみらい市に隣接し、南は利根川を挟んで千葉県野田市と柏市に相對した東西 7.5km、南北 7.2km、面積 35.63km²の市である。

地勢は、茨城県南部から千葉県北部にわたる大きな洪積台地「常総台地」から枝状に伸びる猿島台地の先端部分に位置する。また、利根川東遷工事及び鬼怒川開削工事により、3方向を利根川、鬼怒川、小貝川に囲まれた島状の地形となっており、平均海拔はおおむね 20m である。

昭和41年の首都圏近郊整備地帯の指定を受けて以来、住宅公団等による大規模住宅開発、常磐自動車道の開通などの大型プロジェクトが推進され、首都圏の近郊都市として発展した。さらに、平成17年8月のつくばエクスプレスの開通により茨城県の新しい玄関口として更なる発展が期待されている。

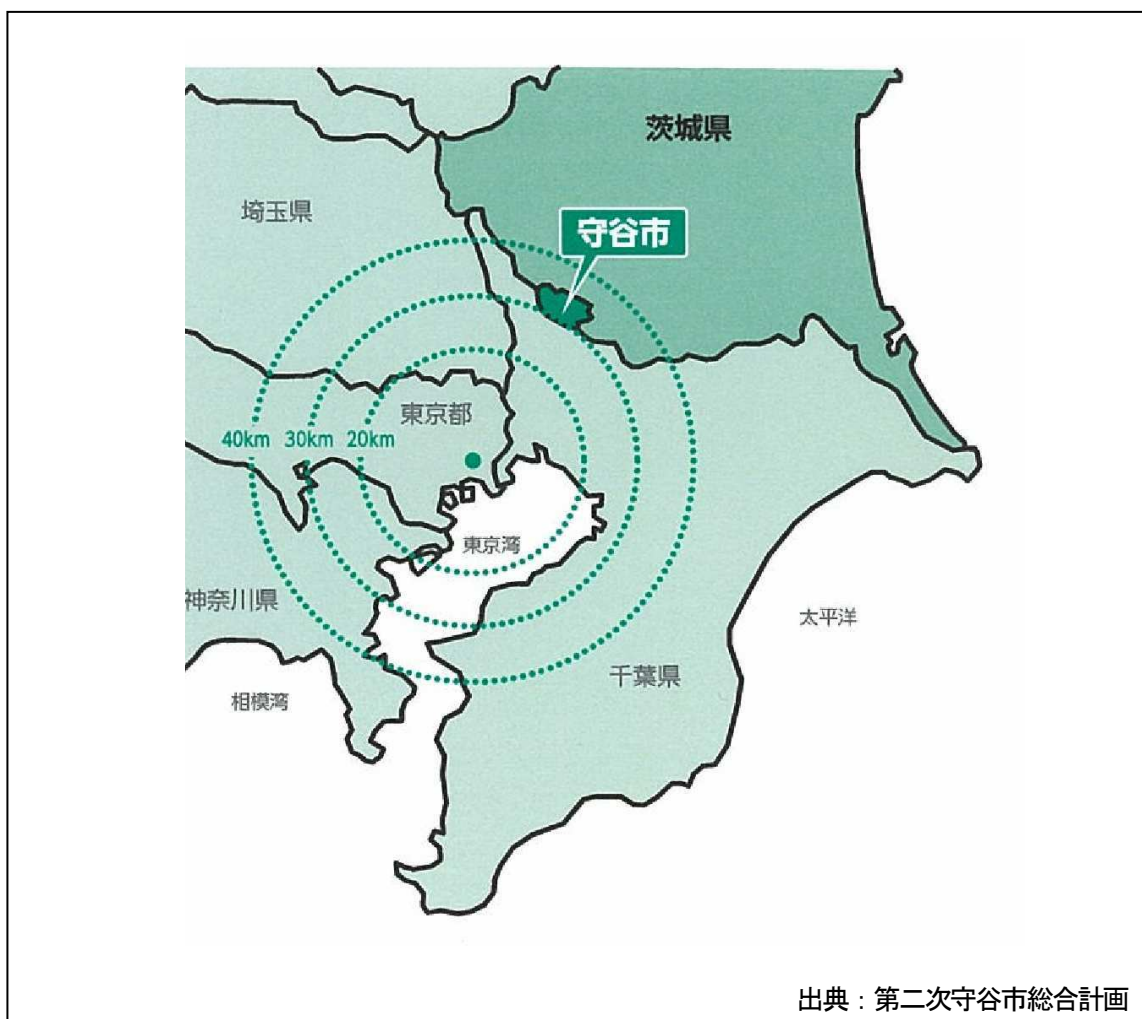


図 2.1.1 守谷市の位置

(2) 気候的特性

過去5年間（平成19年～平成23年）における気象状況を表2.1.1及び図2.1.2に示す。

気候は、年間平均気温15.0℃、年間降水量は約1200mmである。冬季に「筑波おろし」と呼ばれる乾燥した北西の季節風が多くなるものの、3月下旬以降は温暖な気候となる。

表2.1.1 過去5年間における気象状況（平成19年～平成23年）

（降水量：月報記録（浄化センター）、気温：常総地方広域消防本部）

	降水量 (mm)	平均気温 (℃)	最高気温 (℃)	最低気温 (℃)
1月	33.7	4.1	14.8	-4.1
2月	58.1	5.1	19.5	-3.6
3月	70.2	7.9	22.1	-1.6
4月	115.2	12.7	26.7	1.3
5月	132.5	17.9	30.1	8.7
6月	113.5	21.6	32.3	11.9
7月	103.9	25.4	35.2	17.3
8月	161.5	26.6	36.7	19.2
9月	174.9	23.2	33.4	13.1
10月	140.5	17.3	26.9	7.7
11月	80.8	11.3	22.5	1.1
12月	66.6	6.5	18.1	-2.2
平均	104.3	15.0	26.5	5.7

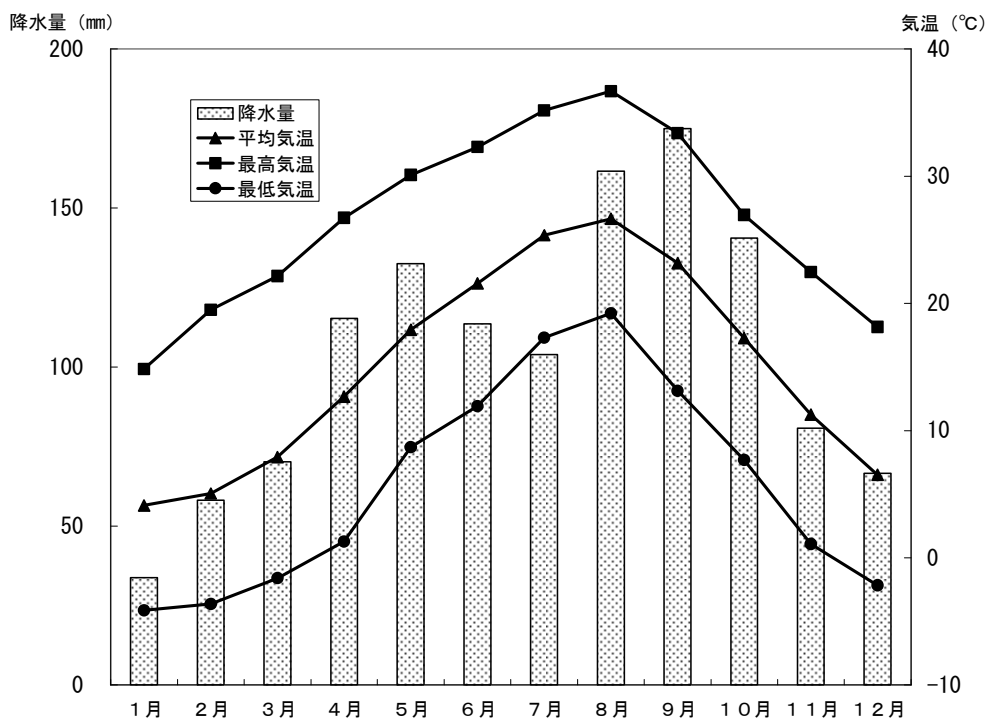


図2.1.2 過去5年間における気象状況（平成19年～平成23年）

2. 社会環境及び生活環境の特性

(1) 人口動態

① 人口の推移

人口・世帯数の推移を表2.2.1及び図2.2.1に示す。

人口、世帯数ともに増加傾向にあり、平成23年の人口は62,884人となっている。しかしながら、世帯人数は減少傾向にあり、核家族化が進行していると思われる。

表 2.2.1 人口・世帯数の推移

年次	人口（人）			世帯数	世帯人数 （人／世帯）
	総数	男	女		
平成14年	51,974	26,281	25,693	17,429	2.98
平成15年	52,564	26,563	26,001	17,845	2.95
平成16年	53,180	26,858	26,322	18,248	2.91
平成17年	53,700	27,061	26,639	18,677	2.88
平成18年	55,765	28,143	27,622	19,670	2.84
平成19年	57,399	28,988	28,411	20,479	2.80
平成20年	58,861	29,791	29,070	21,350	2.76
平成21年	60,701	30,669	30,032	22,363	2.71
平成22年	62,482	31,591	30,891	22,854	2.73
平成23年	62,884	31,761	31,123	23,239	2.71

各年10月1日現在

出典：統計もりや（平成23年版 常住人口調査（企画課））

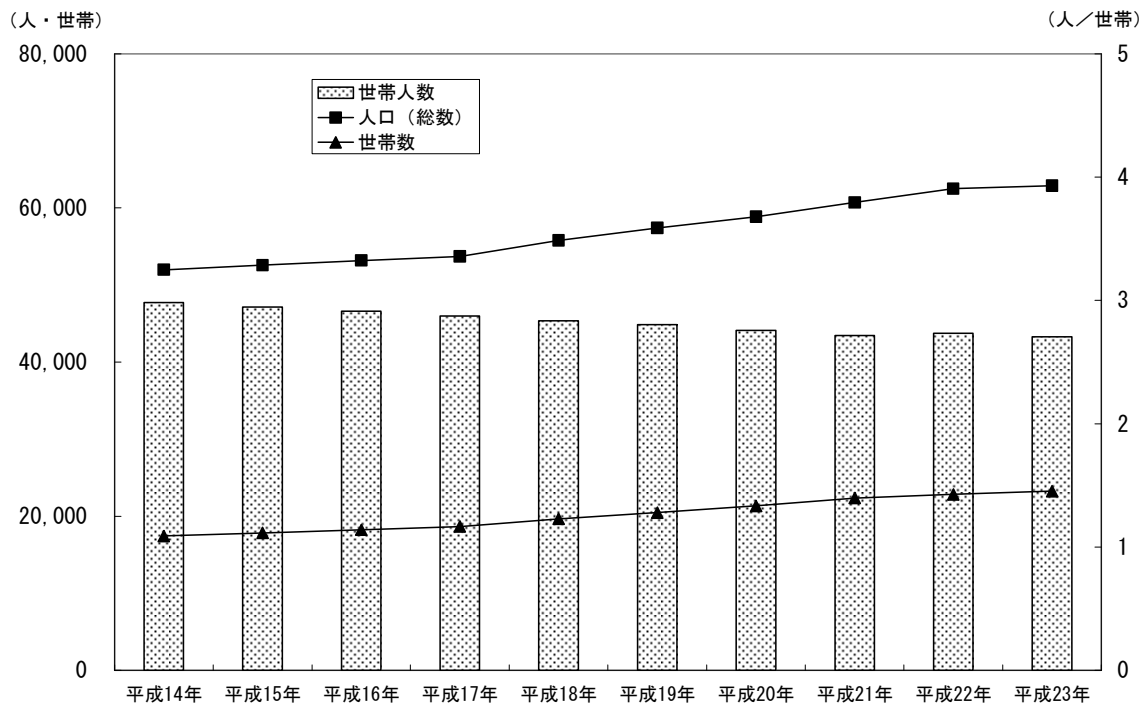


図 2.2.1 人口・世帯数の推移

② 年齢階級別人口

年齢階級別人口の推移を表 2.2.2 に示す。また、平成 23 年 10 月 1 日現在における年齢階級別人口の構成を図 2.2.2 に示す。

15～64 歳（生産年齢人口）は減少傾向にあり、65 歳以上（老年人口）は増加傾向にある。

表 2.2.2 年齢階級別人口の推移

年次	総数 (人)	0～14歳（年少人口）		15～64歳（生産年齢人口）		65歳以上（老年人口）	
		計（人）	構成比（%）	計（人）	構成比（%）	計（人）	構成比（%）
平成14年	51,974	8,506	16.4	37,682	72.5	5,779	11.1
平成15年	52,564	8,445	16.1	38,067	72.4	6,045	11.5
平成16年	53,180	8,417	15.8	38,439	72.3	6,317	11.9
平成17年	53,700	8,500	15.8	38,708	72.1	6,491	12.1
平成18年	55,765	8,856	15.9	40,013	71.8	6,895	12.3
平成19年	57,399	9,190	16.0	40,811	71.1	7,397	12.9
平成20年	58,861	9,488	16.1	41,456	70.4	7,916	13.5
平成21年	60,701	9,820	16.2	42,366	69.8	8,514	14.0
平成22年	62,482	10,142	16.3	43,175	69.3	8,955	14.4
平成23年	62,884	10,161	16.2	43,122	68.8	9,399	15.0

各年 10 月 1 日現在

注) 年齢不詳により、総数とずれが生じる場合あり

参考：統計もりや（常住人口調査（茨城県））

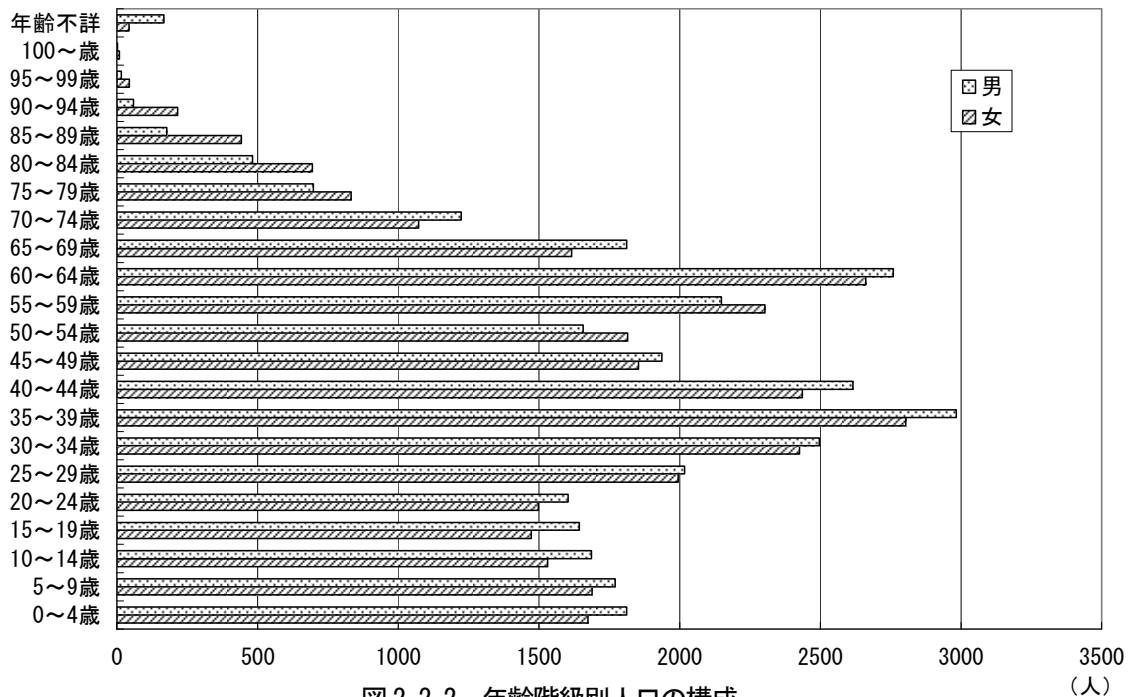


図 2.2.2 年齢階級別人口の構成

③ 外国人登録者

外国人登録者数の推移を表2.2.3に示す。また、平成23年3月31日現在における外国人登録者の割合を図2.2.3に示す。

平成23年3月31日現在、34カ国の外国人が登録されており、国籍では中国が最も多く、次いでブラジル、韓国、フィリピンとなっている。

表2.2.3 外国人登録者数の推移

国籍	単位：人				
	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年
ブラジル	173	149	170	155	170
スリランカ	7	7	9	10	11
中国	156	160	194	202	222
インド	2	0	2	8	10
インドネシア	12	7	9	11	7
韓国	102	100	109	127	125
ペルー	35	26	28	33	28
フィリピン	80	75	73	85	81
タイ	43	43	44	41	36
米国	19	17	17	32	31
その他	43	46	42	56	70
合計	672	630	697	760	791

出典：外国人登録国籍別人員調査表（守谷市）

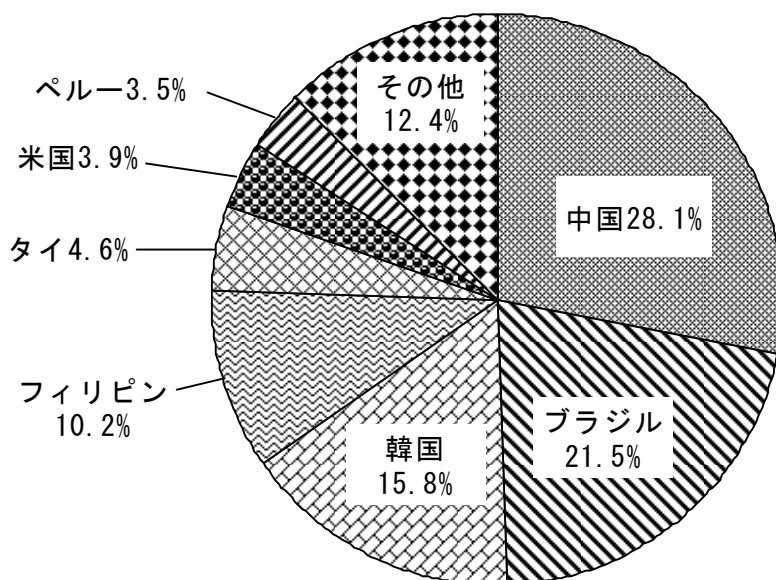


図2.2.3 外国人登録者の割合（平成23年3月31日現在）

(2) 産業の動向

産業3部門就労者の推移を表2.2.4及び図2.2.4に示す。

第一次産業及び第二次産業の就労者数は減少傾向にあるが、第三次産業の就労者数は増加傾向にあり、平成22年度の第三次産業の就労者数は平成17年度に比べ大きく増加している。

表 2.2.4 産業3部門就労者数の推移

単位：人・%

産業分類	平成12年度		平成17年度		平成22年度	
	総数	構成比	総数	構成比	総数	構成比
総数	24,609	100.0	26,404	100.0	31,291	100.0
第一次産業	427	1.7	377	1.4	234	0.7
第二次産業	8,110	33.0	7,880	29.8	7,855	25.1
第三次産業	15,686	63.7	17,901	67.8	21,241	67.9
分類不能の産業	386	1.6	246	1.0	1,961	6.3

参考：統計もりや（国勢調査（企画課））

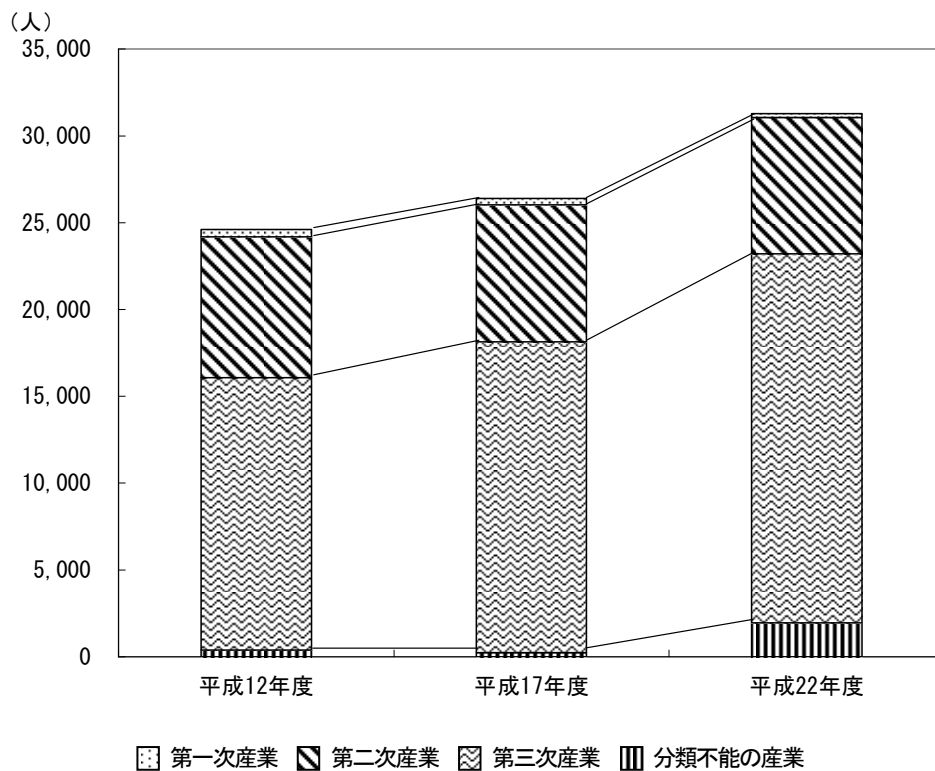


図 2.2.4 産業3部門就労者数の推移

(3) 土地利用状況

地目別土地利用の推移を表 2.2.5 に示す。また、平成 23 年における地目別土地利用の構成比を図 2.2.5 に示す。

平成 23 年における主な土地利用は、雑種地 (26%) が最も多く、次いで宅地 (23%)、田 (13%)、畑 (12%) となっている。

表 2.2.5 地目別土地利用の推移

	平成19年		平成20年		平成21年		平成22年		平成23年	
	面積 (ha)	構成比 (%)	面積 (ha)	構成比 (%)	面積 (ha)	構成比 (%)	面積 (ha)	構成比 (%)	面積 (ha)	構成比 (%)
総面積	3,563	100	3,563	100	3,563	100	3,563	100	3,563	100
田	474	13	471	13	471	13	468	13	467	13
畑	435	12	428	12	423	12	416	12	412	12
宅地	818	23	824	23	830	23	833	23	836	23
山林	254	7	252	7	251	7	249	7	248	7
原野	158	5	158	5	158	5	162	5	161	5
雑種地	916	26	922	26	924	26	930	26	944	26
その他	508	14	508	14	506	14	505	14	495	14

各年 1 月 1 日現在

注) 表の数値は四捨五入しているため、合計値が一致しない場合がある。

参考：統計もりや（税務課）

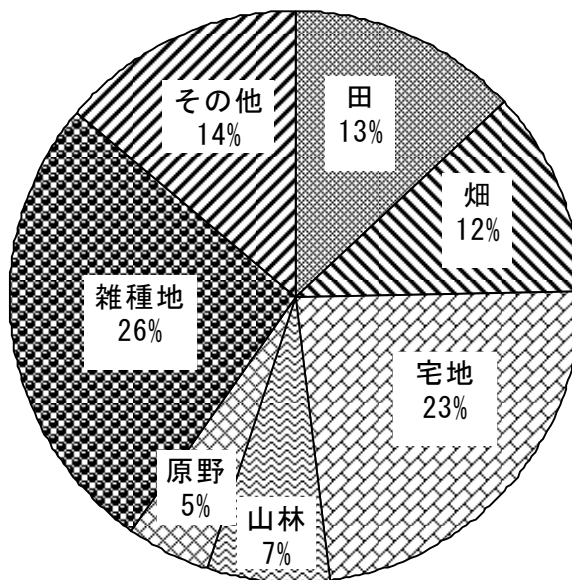


図 2.2.5 地目別土地利用の構成比 (平成 23 年)